



# 国立がん研究センター新ビジョン

## 革新への挑戦と変革 Novel, Challenge and Change

研究所

早期・探索臨床研究  
センター

中央病院

東病院

がん予防・検診研究  
センター

がん対策情報  
センター

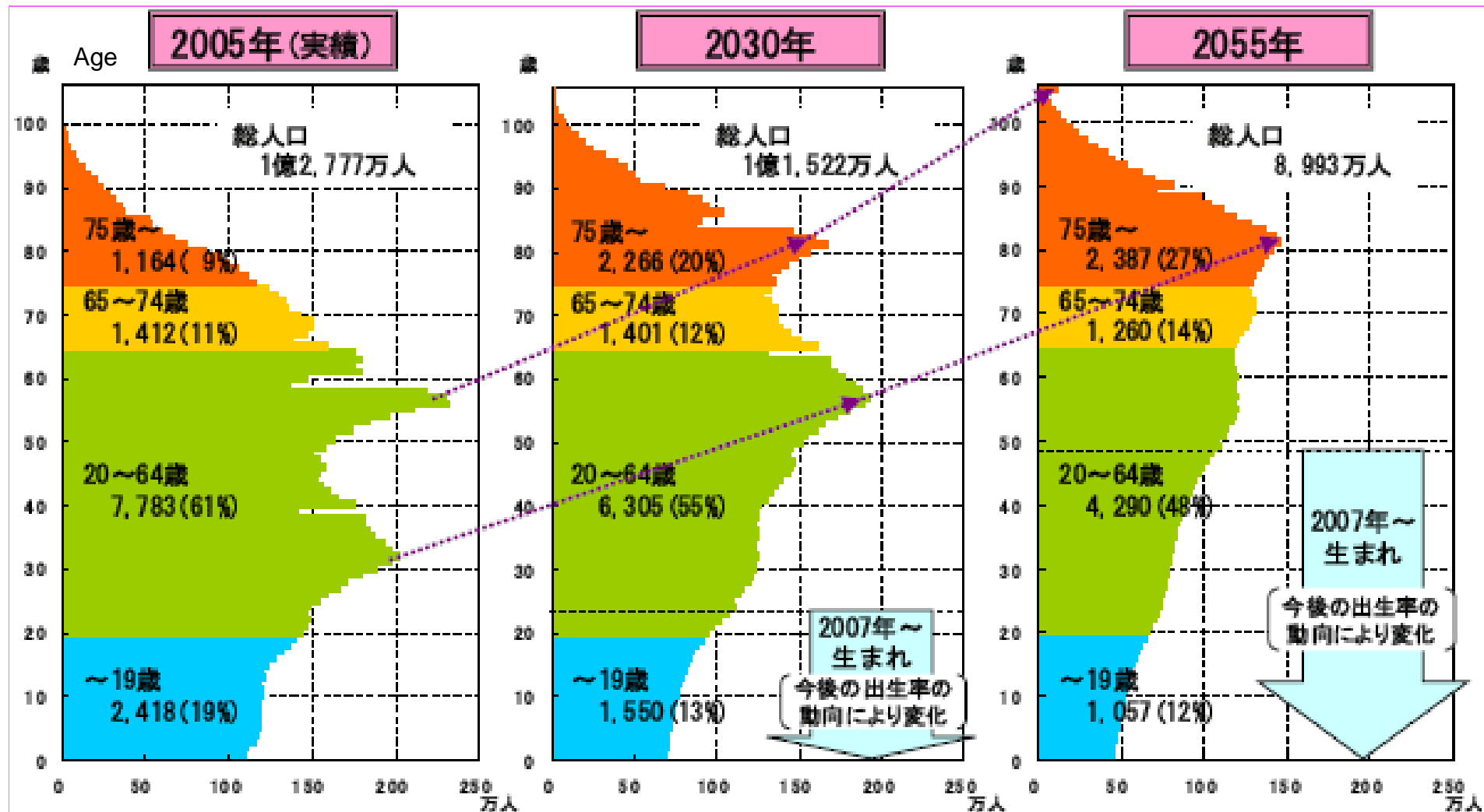
がんにならない、がんを負けない  
がんと生きる社会をめざして

# わが国の現状

# わが国のがんの現状と将来予測

- 人口の**急速な高齢化**に伴い、国民の二人にひとりががんになり、今後さらに患者が増加
- **働き盛り世代の死因の40%ががん**である
- 人口の高齢化とともにがんの罹患率は上昇し、年齢調整死亡率は低下するが、総死亡者数は増加。三人にひとりががんで死亡する
- 団塊の世代が後期高齢者層を形成する**2030年前後**にはがん患者数は大きく増加。**がん多死社会**が到来

# 人口ピラミッドの変化予測

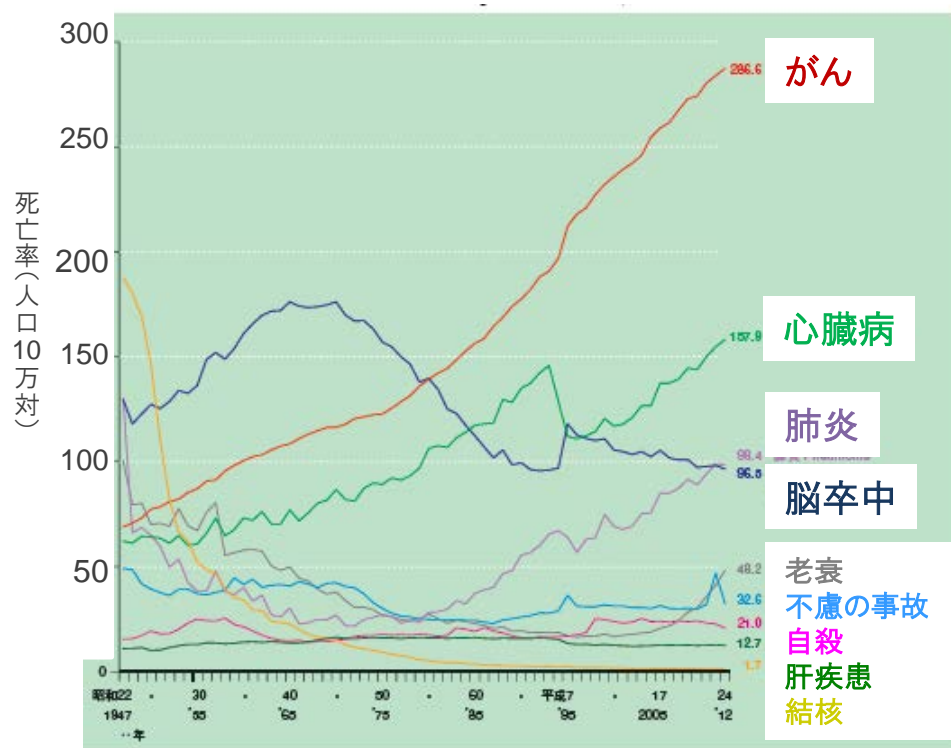


65歳以上の人口は2025年にピークを迎える

総務省「国税調査」および「人口推計」、人口問題研究所「日本の将来推計人口」

# がんの粗死亡率と年齢階級別がん罹患率推移

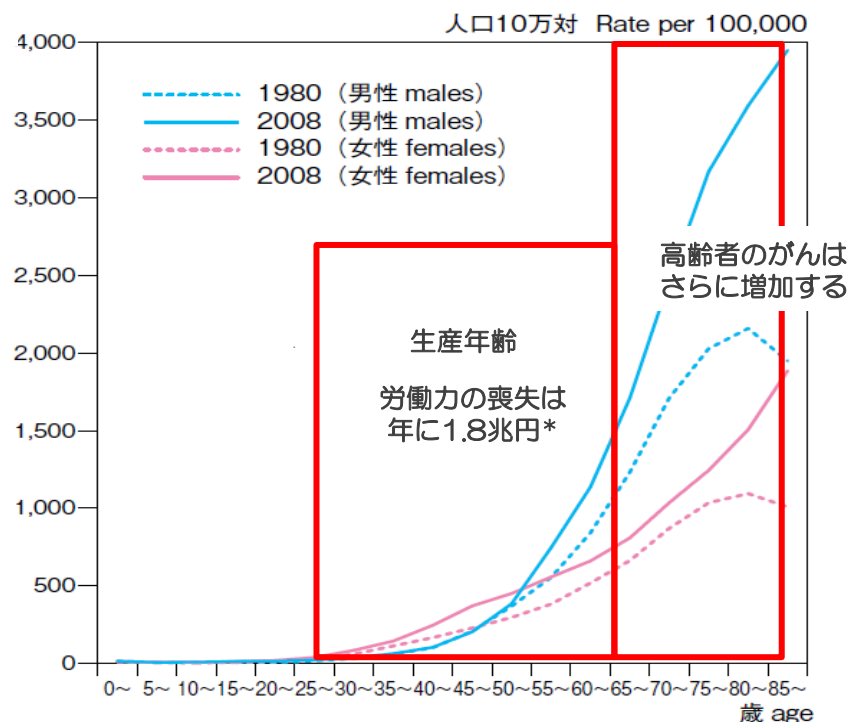
主要部位別粗死亡率年次推移  
(1947-2012)



がんは1981年から死因の第1位で  
総死亡の3割を占める。

年齢階級別がん罹患率推移  
(1980年、2008年)

全がん All cancers



がんの統計' 13

\*「がん対策の費用の分析」  
(分担研究者: 福田敬平成20・21年度厚生労働科学研究  
費補助金がん臨床研究事業)

# 国立がん研究センターの役割



# 国立がん研究センターの役割

- 国立高度専門医療研究センター
- 研究開発型独立行政法人

NCCは、独立行政法人の中でも国内に37機関しかない研究開発型の法人で、がん領域においては唯一

昨年12月24日に閣議決定された「独立行政法人改革に関する基本方針」において、「**研究開発成果の最大化**」を目的とし、**大学又は民間企業が取り組みがたい課題に取り組む**法人として位置づけられた

- **がん専門の研究・早期探索・診療機関**

研究と診療を一体的に進める国内最大のがん専門機関・  
早期・探索的臨床試験拠点

# がん研究対策と 国立がん研究センターの歩み

## がん研究10か年戦略(2014-2023)

第2次がん対策推進基本計画(2012)

がん登録推進法 (2013)

日本再興戦略(2013)

健康・医療戦略(2013)

独立行政法人日本医療研究  
開発機構法(2014)

## 第3次対がん10か年総合戦略 (2004-2013)

がん対策基本法(2006)

がん対策推進基本計画(2007)

## がん克服新10か年戦略 (1994-2003)

## 対がん10か年総合戦略 (1984-1993)

がんが死因の第1位(1981)

東病院開院(1992)  
研究所支所(1994)

国立がんセンター創立(1962)  
病院・研究所

## 独立行政法人化(2010)

早期・探索臨床研究センター(2011)

今後のがん研究のあり方に関する有識  
者会議(座長: 国立がん研究センター  
理事長 堀田知光)

「根治・予防・共生  
～患者・社会と協働するがん研究～」  
(2013)

がん予防・検診研究センター(2004)  
東病院臨床開発センター(2005)  
がん対策情報センター(2006)





# 国立がん研究センターの役割

## 国のがん対策

### 「がん対策推進基本計画」

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/gan\\_keikaku.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/gan_keikaku.html)

がん対策基本法に基づき策定されたがん対策の基本方針  
平成24(2012)年度から平成28(2016)年度までの5年間が対象

「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんに向き合い、  
がんを負けることのない社会」

### 「がん研究10か年戦略」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000042871.html>

2014年4月 文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣

「根治・予防・共生 ～患者・社会と協働するがん研究～」

2013年8月 今後のがん研究のあり方に関する有識者会議

座長：堀田知光 独立行政法人国立がん研究センター 理事長

## 日本が抱える課題

- 高齢化
- ドラッグラグ
- 希少がん対策
- サバイバーシップ
- がん患者の社会的問題
- がん対策の推進と評価
- 専門医療従事者不足

⋮

## 国立がん研究センターの役割

2013年12月24日閣議決定「独立行政法人改革に関する基本方針」

- 大学又は民間企業が取り組みがたい課題への取り組み
- 世界レベルでの研究開発成果の最大化

希少がん

アジアに多い  
難治性がん

早期  
臨床開発

標準医療の  
確立・普及

サバイバー  
シップ

公衆衛生・疫学  
社会学的研究

がん対策の  
先導役

人材育成  
人材輩出

新ビジョン

国立がん研究センターが目指すもの

# がんにならない、がんを負けない がんと生きる社会

国立がん研究センターは

がんの克服という最終目標に向けて、様々なライフステージにあるひとりひとりにとって  
より効果的ながんの予防・診断・治療法の開発とそれにつながる基礎研究と  
臨床への橋渡し研究(トランスレーショナル・リサーチ)をさらに推進します

# 実現するための組織機能

診療  
研究 } を束ねる がん対策実行の先導役

基礎研究

橋渡し研究

診療  
臨床研究

ヘルス  
リサーチ

がん対策  
事業

コアファシリティー  
事業

基礎研究支援

研究支援機能

臨床研究支援

人材育成機能

～ 基本精神 ～

革新への挑戦と変革 *Novel, Challenge and Change*

## 基礎研究

- がんの本態解明とそれに基づくバイオマーカー探索
- ファースト・イン・ヒューマンを含む早期臨床開発の推進
- 希少がん、アジアに多い難治性がんの発展・進展・治療抵抗性等の機序の解明に関する研究
- 成果を基礎から臨床につなげる一連の研究活動を推進する基盤整備としてプラットフォーム事業（次世代シーケンス技術を用いた遺伝子解析のデータベース化）

## 橋渡し研究



## 診療・臨床研究

- 研究的要素を伴う最先端医療の推進
- 標準医療の確立と普及
- 希少がんセンターの設置
- 緩和医療を含むサポーターケアセンターの充実
- 内視鏡センター、通院治療センター、臨床試験病棟のさらなる強化

## ヘルスリサーチ

### ヘルスリサーチセンターの設置

がんを有する患者のみならず、国民全体に研究成果を還元

- 疫学、予防、検診開発、サバイバーシップ、社会学、医療経済、生命倫理、情報提供に関する研究、政策分野に関する研究体制の一本化

## がん対策事業

### がん対策基本計画実行の先導役

- がん登録データ収集・解析の事業化およびがん登録データを用いた研究基盤の構築
- がん情報の収集と発信
- 診療連携拠点病院のネットワーク強化

## 研究支援機能

### 研究支援センターの設置

- 基礎研究、臨床試験、疫学研究、社会学研究、看護研究等全ての研究を一元的に支援

生物統計コンサル、データマネジメント、研究参加者ケア（IC支援等）、戦略的研究費獲得、知的財産、産学連携、研究倫理関連事務 等

## 人材育成機能

### 人材育成センターの設置

- キャリアパスの構築と適正な評価
- 教育プログラムの管理・開発
- 教育施策全体の企画・マネジメント
- わが国のがん医療の均てん化に資する戦略的人材確保と輩出



独立行政法人国立がん研究センター  
*National Cancer Center*

# 革新への挑戦と変革

*Novel, Challenge and Change*